

報道関係者各位

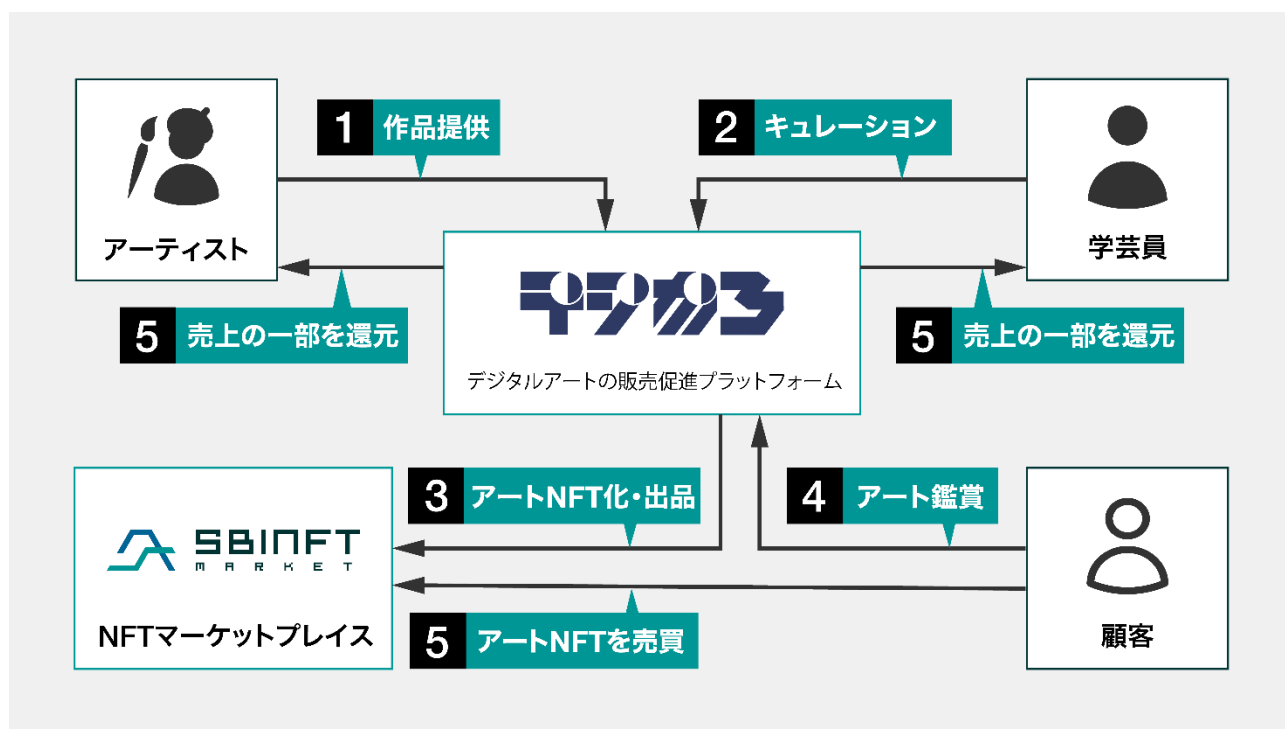
2025 年 6 月 10 日
SBINFT 株式会社
九州電力株式会社**SBINFT と九州電力はアート NFT 販売領域での提携を開始します**

～ デジタルアート市場の活性化と発展に貢献し、新たな体験を創出する実証を開始 ～

SBINFT 株式会社（代表取締役：近藤 智彦、以下「SBINFT」）と九州電力株式会社（代表取締役社長執行役員：池辺 和弘、以下「九州電力」）は、SBINFT が運営する NFT（※1）マーケットプレイス「SBINFT Market」と、九州電力が運営するデジタルアートのキュレーション（※2）プラットフォーム「デジがろ」が、アート NFT の販売領域で提携することについて、本日合意しました。

本提携において、九州電力は「デジがろ」内でキュレーションしたデジタルアート作品を、「SBINFT Market」の機能を用いて Polygon チェーン（※3）上のアート NFT として発行し、本日から一部作品を「デジがろ」内に掲載、2025 年 6 月 24 日から作品を拡充の上、販売を開始します。九州電力は、当該 NFT の売上の一部を、アーティスト及びキュレーターとしてデジタルアート作品を評価する学芸員資格保有者に還元します。

SBINFT は、九州電力が発行したアート NFT の取扱いを開始します。また、九州電力に対し「SBINFT Market」内でアート NFT を作成する機能と、アート NFT をクレジットカード決済で販売する環境を提供します。



本提携によって、九州電力はクレジットカード決済でのアート NFT の販売が可能になり、暗号資産を持たないユーザーも取引が可能になります。それによって、より多くの層に対する販売機会を創出でき、「SBINFT Market」を介した「デジがろ」によるアート作品の販売促進とアーティスト・学芸員資格保有者に対する収益機会提供の実現が期待できます。また、SBINFT は、九州電力によるアート NFT の販売を通じて、「SBINFT Market」の活性化が期待できます。両社は、本取組みがデジタルアート市場の活性化と発展に貢献し、新たな体験を創出できるものと考え、本提携に合意しました。

九州電力は、今後も「ずっと先まで、明るくしたい。」をブランドメッセージとする「九電グループの思い」の実現に向け、本実証を通じ、文化・芸術振興やデジタルアート市場の健全な発展を目指します。

SBINFT は、今後もお客さまのニーズに応えるサービス提供を通じ、お客さまの利便性と満足度向上を図りながら、様々な企業・団体と協業を進めつつ、日本の Web3 (※4) を牽引するビジネスの創出を目指します。

(※1) Non Fungible Token (非代替性トークン) の略。ブロックチェーン (取引記録を暗号技術でつなぎ分散管理することで、データの改ざんを困難にする技術) 上にトークン (ブロックチェーン技術を利用して発行されたデジタル上の資産) の固有情報を記録することで、他のトークンとの識別を可能にしたトークンを意味します。

(※2) 対象を特定の視点で収集・選別・整理することや、編集・提示することで、そこに新たな意味や価値を付与する行為を意味します。本プレスリリース上では「デジタルアート作品の評価による価値の付加」という意味合いで使用しています。

(※3) トークンの固有情報を記録するブロックチェーンネットワークの一つです。

(※4) ブロックチェーン技術を活用した分散型ネットワークのインターネット環境を指し、次世代のインターネットとも呼ばれています。プラットフォームを介さずに、ユーザー同士が直接つながり、データを双方向で利用・管理できるなどの特徴があります。

1.両社のサービスについて

◆SBINFT : SBINFT Market

「SBINFT Market」は、承認制の NFT マーケットプレイスです。マーケットプレイス内で流通する NFT を、SBINFT が承認済みのコンテンツホルダーが発行したものに限定し、ユーザーが模倣品や海賊版を購入するリスクの排除に努めています。また、対応する決済手段は、Ethereum、Polygon、Oasys (各種 Verse)、Avalanche 及びクレジットカード (日本円) で、暗号資産を持たないユーザーでも利用可能です。Web3 初心者が安心して NFT 取引を開始できる環境の提供に努めています。

「SBINFT Market」は 2025 年 5 月時点で累計 20,000 人超のユーザー (ウォレット接続ユーザー数) が利用しています。

URL : <https://sbinft.market/>

SBINFT Marketとは



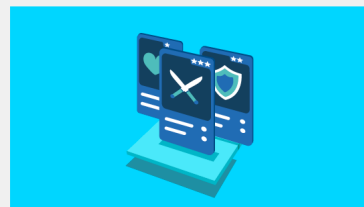
企業・IPホルダーが安心して利用できる

パブリックチェーンNFTマーケットプレイス

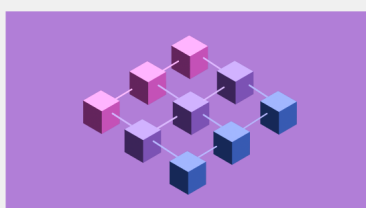
主な特徴



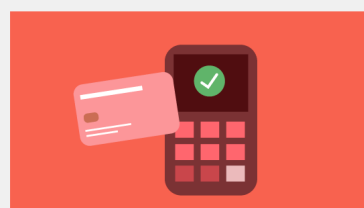
NFTの発行



販売/二次流通を
提供



Ethereum
Polygon
Oasys
チェーンに対応



日本円決済
(クレジットカード)
にも対応

◆九州電力：デジがろ

アーティストから預かったデジタルアート作品に、学芸員の資格を持つ方がキュレーションしてサイト上に掲載し、販売促進を行うことができるプラットフォームサービスです。九州電力の「KYUDEN i-PROJECT (※5)」により立ち上がった「九電デジタル画廊プロジェクト」が運営しており、本日から実証実験を開始しています。キュレーションを通じてデジタルアートの美術的価値を可視化することで、価格が安定しにくいデジタルアートの価格安定化・高付加価値化を図るとともに、アーティストや学芸員資格保有者に新たな収入機会及び実務経験の場の提供を目指しています。

URL : <https://digigaro.com/>

(※5) KYUDEN i-PROJECT は、九電グループ全体でのイノベーションを起点とした、「未来の事業」を生み出すためのプロジェクトです。

URL : <https://kyuden-innovation.jp/>

2.両社の会社概要

【九州電力について】

「快適で、そして環境にやさしい」そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。それが、私たち九電グループの思いです。



◆ 会社概要

会社名：九州電力株式会社

所在地：福岡市中央区渡辺通二丁目 1 番 82 号

代表者：代表取締役 社長執行役員 池辺 和弘（いけべ かずひろ）

設立：1951 年 5 月

事業内容：電気事業、熱供給事業、電気通信事業、ガス供給事業等

<リンカー一覧>

九州電力ホームページ : <https://www.kyuden.co.jp/>

KYUDEN i-PROJECT サイト : <https://kyuden-innovation.jp/>

【SBINFT について】

「Be the FIRST. Be the STANDARD.」 NFT を社会へ広げる、その真ん中に。

SBINFT

利便性の向上、コミュニティの形成、新たな体験の提供。そんな NFT を通した革新的なサービスを、先頭に立って社会へ。そのサービスを誰もが信頼できるプラットフォームで、社会の常識に。ひらかれ、つながった社会の構築を目指して。

◆ 会社概要

会社名：SBINFT 株式会社

所在地：東京都港区六本木一丁目 6 番 1 号 泉ガーデンタワー

代表者：近藤 智彦（こんどう ともひこ）

設立：2015 年 5 月

事業内容：

- ・ NFT プロジェクトの運営を通じたロイヤルカスタマーの可視化、育成、獲得が出来るマーケティングプラットフォーム「SBINFT Mits」の提供
- ・ 承認制による安心安全なコンテンツのみ流通することを目的としたパブリックチェーンによる NFT マーケットプレイス事業「SBINFT Market」の提供

- ・企業や団体などが、NFTを活用した新たなビジネスモデルの構築を実現するためのNFTコンサルティング事業「NFT Consulting」の提供
- ・自社ドメイン上で様々なNFTコンテンツのマーケットプレイス構築を実現するWebAPIによるマーケットプレイス構築支援事業「TOKEN CONNECT」の提供

<リンク一覧>

コーポレートサイト：<https://sbinft.co.jp/>

SBINFT Market：<https://sbinft.market/>

SBINFT Mits：<https://sbinft-mits.com/top>

最新情報：<https://sbinft.co.jp/news/>

採用情報：<https://sbinft.co.jp/careers/>

X (旧 Twitter)：https://twitter.com/sbinft_corp

<報道関係からのお問い合わせ>

◆SBINFT 広報 PR 室

<https://sbinft.co.jp/contact/>

◆九州電力 地域共生本部 報道グループ

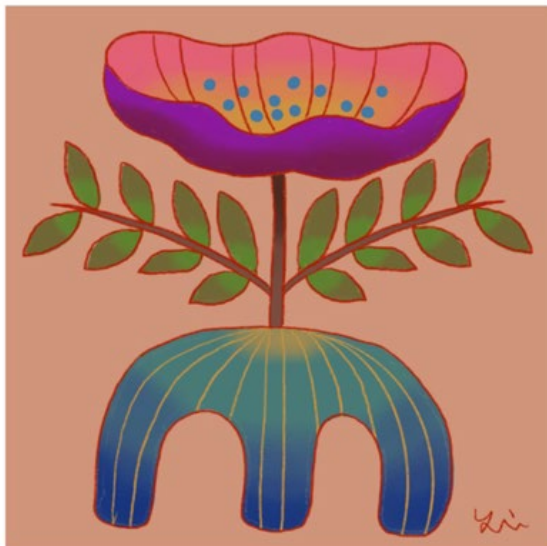
092-761-3031

(参考)

デジタルアート作品に対する学芸員資格保有者によるキュレーション例

Yuri Mizokami

作品名 The imaginary garden 2D-03



The imaginary garden シリーズのうちの1作。本シリーズでは、花器にさした植物を2Dと3Dの2つの方法で表現している。

本作は、手書きの質感が残る2D作品である。

大きく上を向いて開く花、左右に広がる枝葉は開放的な印象をあたえる。花卉の内側から光があふれるような色彩は温かく、青色のめしべのような点々はリズムカルである。

全体的に有機的な線で表現されており、人間の筆跡が描かれた植物の生命力の源にもなっている。デジタルアートでありながら、人間や植物の体温を見るものに感じ取らせる作品である。